

ハマフエフキの養殖試験

安井理奈

1. 目的

県内で放流、養殖されているハマフエフキについては、1982～86年の石垣島での成長が報告されている(與那嶺,1989)。

今回、魚類養殖の盛んな沖縄本島北部での成長や餌料転換効率等を調査する目的で養殖試験を行った。

2. 材料と方法

試験は、当センター地先の海面生簀(3m×3m×3m、2008年1月25日から5m×5m×5m)に、平成19年に当センターで生産したハマフエフキ(平成19年5月15日採卵)を3000尾収容して2007年8月7日から開始した(以降07本部群とする)。餌料には、日本農産工業(株)製まだい用配合飼料 EX まだい彩りを使用し、給餌は1日1回行った。ほぼ2ヶ月ごとに50～100尾を麻酔して全長、尾叉長および体重を測定した。また飼育魚を全数計数して生残率も調べた。増肉係数等は中村ら(2006)を参考に計算した。

3. 結果

飼育結果を表1に示した。飼育魚は平成20年3月には302日令で平均全長159.7mm、平均体重87.2g

にまで成長した。

1982年と2007年の水温の推移を図2に示した。月々の平均水温は、1982年の石垣より2007年の本部が高かった。

與那嶺(1989)が報告した飼育結果と成長等を比較し図2～5に示した。体重の最大、最小値と尾叉長については、上記報告のグラフから読み取っている。同時期(301日令)に、與那嶺の飼育魚は平均体重214.8gにまで成長している。

今後も出荷サイズ(1.5～2kg)程度まで飼育を続けて経過を観察する予定である。

4. 参考文献

- 與那嶺盛次. 沖縄県石垣島における小割養成ハマフエフキの成長と産卵. 水産増殖 1989; 37:253-257.
- 中村博幸, 知名真智子, 濱川薫. 海面生簀を用いたスギの養殖試験(海面養殖推進総合対策事業). 平成18年度沖縄県水産海洋研究センター事業報告書 2006; 120-125.

表1. 飼育結果

	2007/8/9	9/26	11/26	12/21	2008/1/25	3/12
期間試験日数	0	48	61	25	60	47
平均全長(mm)	80.3	110.8	137.6	-	156.9	165.6
平均体重(g)	8.9	25.3	51.4	-	75.6	87.2
平均肥満度	17.3	18.6	19.8	-	19.6	19.2
収容尾数	3000	2991	-	2930	2881	2818
生残率	100.0%	99.7%	-	97.7%	96.0%	93.9%
総重量(kg)	26.8	75.7	150.7	-	217.7	245.7
期間増重量(kg)	-	48.9	75.0	-	67.0	28.0
期間給餌量(kg)	-	49.3	105.2	-	117.0	86.9
期間餌料転換効率(%)	-	64.8	51.3	-	32.2	13.5
期間増肉係数	-	1.54	1.95	-	3.11	7.41
期間日間給餌率(%)	-	2.00	1.52	-	1.06	0.80
期間日間増重率(%)	-	1.99	1.12	-	0.63	0.30

※ 2007/11/26は計数器の不調により計数できなかったため、諸計算には2007/12/26の計数値を代用した。

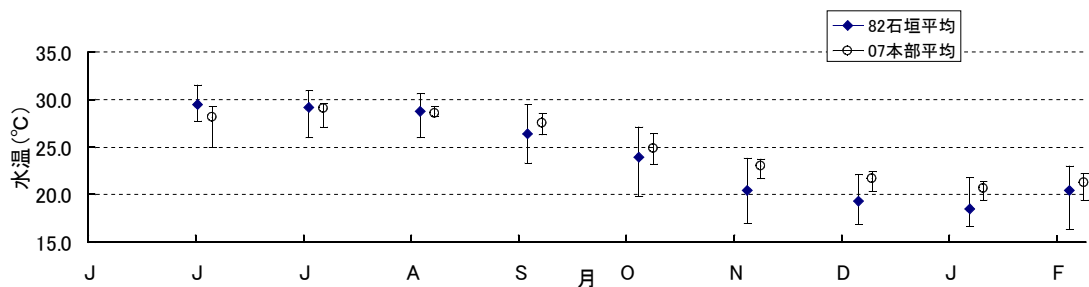


図 1. 水温の比較

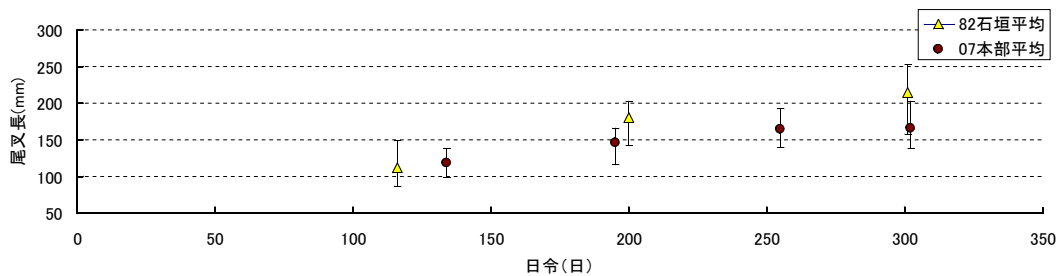


図 2. 尾叉長の変化と比較

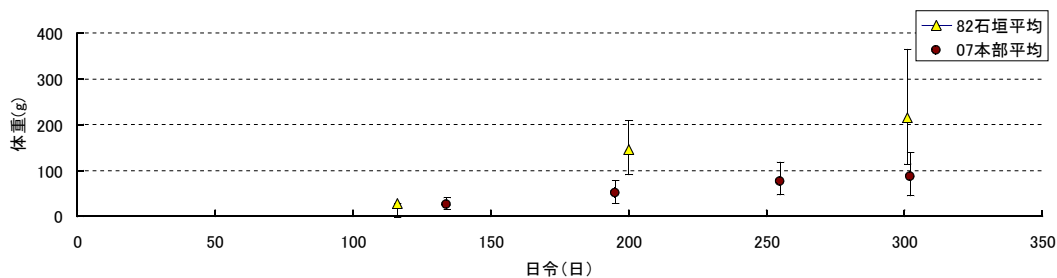


図 3. 体重の変化と比較

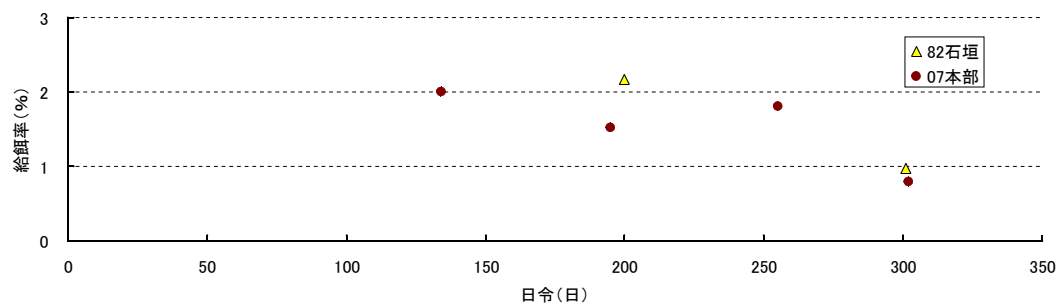


図 4. 給餌率の変化と比較

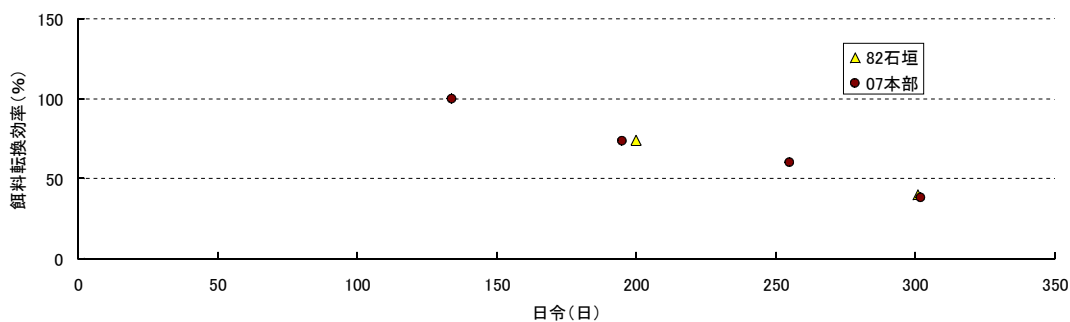


図 5. 餌料轉換効率の変化と比較